四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校

新座市立第四中学校学校だより　令和6年4月8日　第1号

TEL　048-477-6053　　URL　www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon

https://j-daiyon-c-niiza.edumap.jp/

話してみると

校 長　鮫島　弘樹

大きな円形のテーブルを囲み、６名が着席しています。席次表（座席順を示した図）があるので、同席者の名前は分かりますが、お互い初対面どうしです。

ある卒業生の結婚式に招かれた際の、披露宴での一場面です。こうした場ではよくあることですが、何となく居心地の悪さを感じるものです。

新郎新婦の入場までは、しばらく時間があるようです。手元のプロフィールカードなどに目を通してみるものの、それもすぐに読み終わってしまいます。

「ご挨拶が遅くなりました」私よりもだいぶ年上と思われる、右隣の方に話しかけてみました。「私は、〇〇（新郎）が中３の時に担任した者なんです」

「ああそうなんですか・・・彼はね、大学で私の研究室にいたんですよ」「あ、そうなんですね」「研究にはあまり真面目に取り組んでいませんでしたが(笑)、不思議と憎めない人物でしたね」「それは中学生の頃から変わりません」

そこから徐々に話は弾み始め、左隣の方、さらにその隣に座る方へと、だんだん話の輪が広がっていきました。

これまで、場面は違っても、同じような経験を何度もしてきました。

もちろん、「何か話さなければ」などと苦しい気持ちになってまで、面識のない人に話しかける必要はありません。

その上でひとつ言えるのは、初対面の人と会話してみた結果、残念な気持ちになった経験はほとんどない、ということです（あくまで私の経験上ですが）。

逆に、少しだけ勇気を出して話しかけてみたことで、相手の人柄や意外な経歴に触れたり、お互いの思わぬ共通点が見つかって親近感が湧いたりすることもよくあり、「面白い」と感じることの方が圧倒的に多くありました。

そこから新たな世界、新たな活動へと広がっていったこともあります。

令和６年度が始まりました。今年度は新入生１４９名を迎え、全校生徒４７５名でのスタートです。

せっかくこれだけの人数が集まっているのですから、四中生の皆さんには少しの勇気を出して、今まであまり関わりのなかった仲間に、自分から話しかけてみることをおすすめします。

そこから新たな関係が広がる楽しさを知ることと、少しの勇気を出すことの良さを知ること、その２つを経験するよい機会になると考えるからです。

気持ちのよい挨拶や日常的な対話など、お互いの良好なコミュニケーションが質の高い学びや、安心して生活できる環境につながるはずです。

このような考えを基に、子供たちの主体性を高め、必要な場面では適切に支援しながら、子供たちがしっかり力をつけられるよう教育活動を進めてまいります。

今年度も１年間、どうぞよろしくお願いいたします。